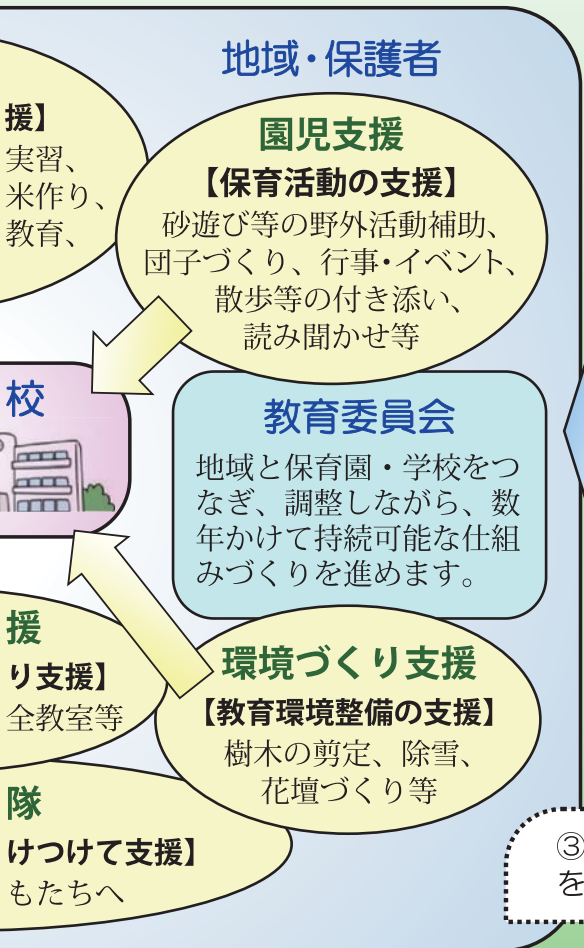


“学び続けるまち” 富士見】の構想

学びを、人を、地域を～

で子どもを支えていただく仕組みです。
地域コミュニティの形成をめざします。



＜どんな支援をするの？＞

- すでに実施している「読み聞かせ」、「行事の引率や活動支援」、「米作りの指導や補助」、「下校時の見守り」等と同じような取り組みです。
- まずは、今ある取り組みの輪を広げていきます。
- さらに、保育園では遊びや運動、野外活動等に、学校では授業や諸活動、放課後の補充学習等にかかわっていただくことを想定しています。

＜どんなふうに進めるの？＞

- ①各園・各校ごと、支援の分野や内容を検討し、地域・保護者に周知
- ②地域・保護者は、支援できそうな分野にボランティア登録
- ③コーディネーターが、保育園や学校の要請を受け、ボランティアに日時や内容を連絡
- ④ボランティアは、支援できそうなところを自由に選んで参加申込
- ⑤コーディネーターが調整して、ボランティアに正式依頼 → 【実際の支援へ】

～詳細については順次お知らせしていきます～

③～⑤の調整役として、教育委員会に専属のコーディネーターを配置する予定です。この仕組みづくりのリーダーです。

まちづくり

かした子育てや保育の充実な託児「ファミリーサポート」「AiAi」、母子通園施設「すくち」（県の自然保育団体に認定）保育の充実

森のいえ「ぼっち」



4 生涯学習・生涯スポーツの充実

- 生きがづくり・健康づくり・地域交流の場づくり
 - ・これまで育んできた取り組みの継承・啓発・発展
各種講座、公民館活動、社会体育、各種スポーツ大会、図書館・博物館活動等
 - ・遺跡や文化財の保護・活用
 - ・各種交流活動の促進

●施設の維持・管理・整備

- 祝 土偶：国の重要文化財指定
- 駅伝：町の部優勝
- 総合8位
- 図書館：17年連続日本一



縄文王国収穫祭

【“教育のまち” “子育てのまち”】

1 地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり

～つなげよう！

- ◆読み聞かせボランティアのような支援の輪を広げ、子どもと活動を楽しみながら、地域ぐるみ
- ◆様々な場面で子どもにかかわることで、地域も元気になりましょう。保育園や学校を核とした

<どんな効果があるの？>

●子どもにとって

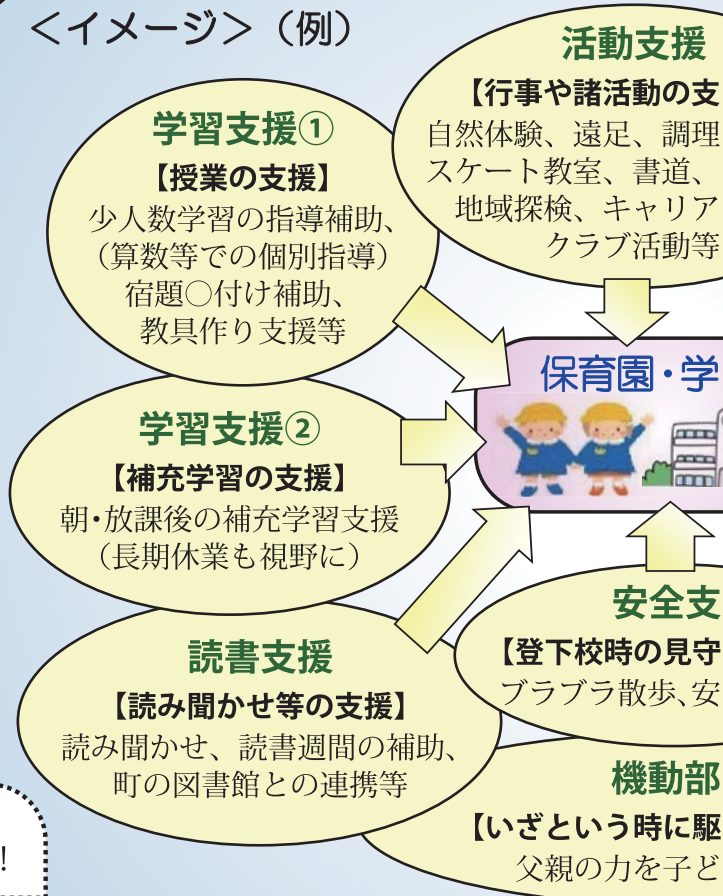
- ・学習意欲の高まり、学力・体力の向上
- ・地域や郷土への愛着心
- ・認められ、大切にされる喜び
- ・自己肯定感の高まり、心のケア
- ・人間関係力、コミュニケーション力
- ・地域の担い手としての自覚
- ・見守られている安心感

●地域にとって

- ・子どもから得る活力、笑顔、感動
- ・自身の学びや生きがいづくり
- ・健康の保持・増進
- ・地域で子どもを育てる気運の高まり
- ・家庭教育力の向上
- ・地域の絆、ネットワークづくり

互恵関係を大切に、来年度から、徐々に進めます。
ゆくゆくは施設面で可能な校園内に地域サロンを！

<イメージ> (例)



2 学力向上および教育環境の充実

●より主体的・積極的に学びに向かう学習改善

- ・安心して自分を発揮し、友だちと響き合いながら新たな発想を生み出す学びの創造（大学教授による指導・研修）
- ・ホワイトボードの活用、ICT（情報通信技術）教育の推進

●朝学夕学グローアップ

- ・中学生希望者対象。朝や放課後の補充学習指導

●小1からの英語教育

- ・外国人教師による授業

●トイレ改修等環境整備



夕学グローアップ

3 子育てしやすい

●富士見の自然や地域を活

- ・健康診断時心理相談、家庭的病児保育、子育てひろばすく広場、森のいえ「ぽっ
- ・各保育園の特色を活かした

●児童クラブの拡大

- ・6学年まで利用拡大

●公園の整備

- ・町民センター前の運動場を、子育てや健康増進等のための公園に！